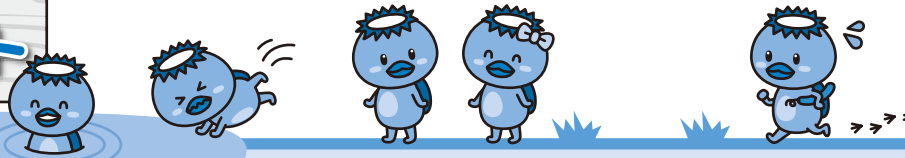


# クイズ & アンケート



クイズとアンケートに答えていただいた人の中から抽選でプレゼントします。なお、当選の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

## 今月のプレゼントは『カパルのサイン付き グランプリ獲得ポスター』 3名様



### 今月の広報紙クイズ

**Q** (公財) 志木市文化スポーツ振興公社公式キャラクターのカパルが2017年8月から務める志木市の大使は？

志木市〇〇大使

ヒント…2・3ページ

### アンケート

※イメージ

- Q1** 今月号で良かった内容や写真を教えてください。
- Q2** 取り上げて欲しい内容や企画を教えてください。
- Q3** 広報紙に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

### 応募方法

次の①～⑥を記入(必須)のうえ、ハガキ、お便り、メール、または申込フォームQRコードからご応募ください。

- ①クイズの〇に入る言葉、②アンケートの回答、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号



申込フォーム  
QRコード

<宛先> 〒353-8501 志木市中宗岡1-1-1  
志木市役所秘書広報課「広報しき2月号」係  
☒ koho@city.shiki.lg.jp

<締切> 2月20日(水)※消印有効



志木市長 香川 武文

## 「備える」年

新しい年が明け、1か月が過ぎました。まだまだ寒い日が続きますが、皆さんお元気でしょうか。

平成31年は亥年です。「亥」は十二支の中で、最後に来る干支ですが、十二支は巡りますので、次の干支である「子」年に向けた「備える年」という意味合いもあるとのこと。そのような捉え方から、改めて、今年は「備える」ということを念頭に置いていきたいと考えています。

まずは「災害に備える」です。昨年の世相を表す漢字は「災」。大阪府北部地震、西日本を中心とした平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震など、昨年は日本が大きく傷ついた年となりました。本市にあっては、幸い大きな災害は発生しませんでした。懸念される首都直下型の地震にあっては、今後30年のうちに70%の確率で発生されると予測されているものの、ここ1～2年で発生すると予測する研究者もいるのが現実です。

市民7万6千人の命を守る職員の意識を「災害は『いつ』『なんどき』発生するか分からない」ではなく、「災害は今発生する」といった考え方に換え、引き続きあらゆる角度から、緊張感を持って災害に「備えて」いきます。

次に「新庁舎建設に備える」です。現在、新庁舎建設推進

室を中心に、2022年の庁舎竣工に向けて、実施設計も最終段階を迎えるなど着々と準備が進んでおり、今年の年末にはいよいよ、仮庁舎となる志木駅東口周辺のテナントビルなどに機能移転、引っ越しを行っていきます。



▲新庁舎完成予想図

すべての職員が役所の引っ越しなどはじめての経験でありますし、ましてや役所機能が分散する経験もはじめてであります。機能移転に際し大きなエラーが発生することが強く懸念される場所ですので、想定される課題を全庁で横断的に共有し、市民サービスにかかる影響もイメージしながら、エラーが発生しないよう「備えて」いきます。

最後は「来年の市制施行50周年に向けて備える」です。

ひとことで50年と言っても、言い換えれば半世紀であり、大きな節目であると感じています。すでに昨年、40人の市民、9人の職員で構成する、市制施行50周年記念事業検討委員会が発足し、魅力ある事業づくりに向け、活発な議論を展開していただいています。私自身も50周年という二度となる時を、市民の皆さんと迎えられることは、大きな喜びであり、検討委員の皆さんが熱心に参画する姿を目の当たりにし、是非とも大成功を取りたい、と強く感じています。

50周年は来年ではありますが、今年はプレ事業も検討されており、記念事業に向けてさらに力を結集すべく、本年早々に、市民、職員から実行委員を募集し、オール志木で、未来への確かな一歩を踏み出せる50周年に「備えて」いきます。

現在、来年度に向けて予算編成の真っ最中。これらの「備え」も大切に、市民の皆さんの笑顔につながる予算となるよう知恵を出す日が続いています。